

寸又峡の落ちない大石を見に行きましたよ。思ってたより大きかった！



緑のふるさと協力隊員  
高瀬美智子の奮闘記⑦  
み・す・し・る・べ

高瀬美智子 群馬県みどり市出身・緑のふるさと協力隊員第17期生  
緑のふるさと協力隊は、特定非営利活動法人地球緑化センターが推進する事業。農山村に興味を持つ若者を、地方自治体に1年間派遣。隊員として、農業や観光施設などで協力活動をする。美智子さんは、本町4代目の隊員。「おいしいちゃん、おばあちゃんが大好きなんです」と朗らかに笑う22歳。

あけましておめでとっございませう。あつという間に1年が過ぎてしまいました。この時期になると毎年思うことですが、今年は特に早く過ぎていったように思います。

ちょうど1年前の今ごろ、本町に派遣されることが決まりました。あれから早9カ月。活動はあと2カ月ほどで終わりを迎えます。残り少ない時間を、より有意義なものにしていきたいと思えます。

12月4日、市町対抗駅伝大会のスタッフとして現地で応援しました。たまにしか行けませんでしたが、練習にも参加していたんですよ。当然ですが、みんなすごく速いんですよ。「まだ走れるの」って思うくらいラストスパートしてるし、ずーっと同じペースで走り続けるし。本当にすごい。わたしはウォーミングアップだけでへとへともついでいけません。みんなから「本町の代表なんだ」

という心の強さが伝わってくるようでした。とてもかなわないなあ。「わたしも頑張らなきゃ」と勇気をもらった駅伝でした。

12月6、7日には、寸又峡の温泉供養祭・感謝祭に行きました。お母さんたちが作る鍋がおいしくて、全部一通りいただきました。わたしは猪鍋が一番好みだったかな。いっぱい食べて、そのあとは温泉も堪能しました。おかげで肌がつるつるすべすべです。

外森神社の「落ちない大石」を初めて見ました。行く前は「すぐ着くよ」と聞いていましたが、実際は山の途中にあり、急な階段をえっちらおっちら登りました。石は想像以上に大きくて、しかもちよっと浮いている感じがして不思議でした。どうして落ちないんだろっ。

自宅の畑のハクサイは小さいまま…。一人用として、ちょうど良く育ってくれたんです、きつと…。

